

新機能「ワークエリア」使用上の注意

GibbsCAM 2023新機能「ワークエリア」は、加工中の傾斜軸・回転軸の角度制限を行うことができる機能です。従来版では対応できなかった5-Axisツールパスの角度制限にも対応するため、使い勝手が更に向上します。

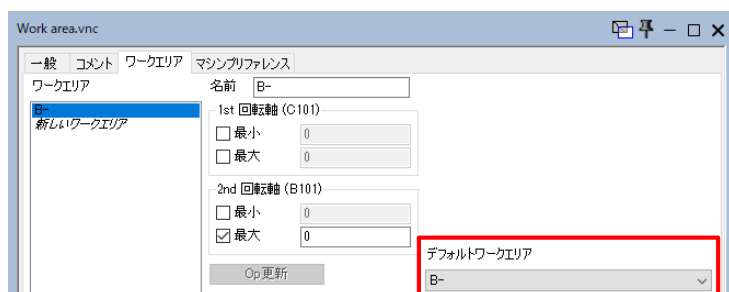
ここでは、新機能「ワークエリア」を適切にご使用いただくための注意事項を連絡いたします。
※ワークエリアの使用方法については、What's Newまたは新機能紹介動画をご参照ください。

新機能紹介動画URL: <https://www.matsuura.co.jp/gibbs/v23>



■ デフォルトワークエリアについて

任意で作成したワークエリアをデフォルトワークエリアに設定した場合、デフォルトワークエリア設定後に作成したオペレーションがデフォルトワークエリアの適用対象となり、既存のオペレーションには適用されません。

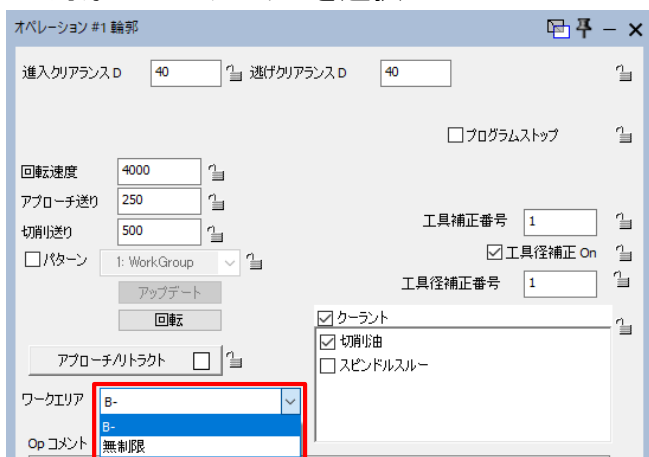


既存オペレーションにワークエリアを適用させるためには、以下何れかの作業が必要になります。

■ オペレーション毎に個別でワークエリアを適用させる方法

【オペレーションデータの場合】

- 1) 対象オペレーションタイトル上で右クリックして、オペレーションデータを選択
- 2) オペレーションダイアログのワークエリアから、対象のワークエリアを選択



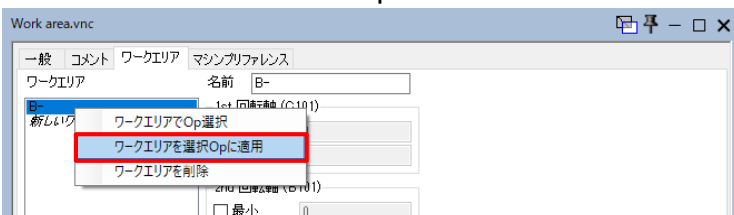
【オペレーションマネージャーの場合】

- 1) オペレーションタイトル上で右クリックして、オペレーションマネージャーを選択
- 2) Opマネージャーダイアログの作業範囲限定から、対象のワークエリアを選択

Op#	Opタイプ	深さ	Z切込み	切込み回数	進入送り	速度	切削送り	作業範囲限定
1	ポケット	0	2.0	1	1000.0	1000 回転数	1000.0 mmpm	無制限
2	ポケット	-23.0	3.0	8	250.0	2000 回転数	300.0 mmpm	無制限
3	ポケット	0	3.0	3	250.0	2000 回転数	300.0 mmpm	B-
4	ポケット	-3.5	3.0	2	250.0	2000 回転数	300.0 mmpm	無制限
5	ドリル	-3.0	-	-	100.0	1500 回転数	-	B-
6	ドリル	-2.3	-	-	200.0	2000 回転数	-	B-
7	ドリル	-6.5	-	-	200.0	2000 回転数	-	B-
8	ドリル	-8.845	-	-	200.0	2000 回転数	-	無制限
9	ドリル	-3.0	1.0	3	200.0	2000 回転数	500.0 mmpm	無制限
10	輪郭	-3.5	3.5	-	250.0	1500 回転数	100.0 mmpm	無制限
11	輪郭	-3.5	3.5	-	250.0	1500 回転数	100.0 mmpm	無制限

■ 複数オペレーションにワークエリアを適用させる方法

- 1) ワークエリアを適用させたいオペレーションタイトルをまとめて選択
- 2) ワークエリア頁の対象ワークエリア上で右クリック → ワークエリアを選択Opに適用を選択



事前確認を必ず行ってください

ワークエリア適用後の対象オペレーションに対して、実加工前に傾斜・回転角度の事前確認を必ず行ってください。

【確認方法(一例)】

- シミュレーションの位置表示機能
- マシンシミュレーション
- ポスト出力後のNCプログラム